

～提案・要望事項～

○ 自転車通行空間整備及び駐輪場整備による安全で快適な自転車利用環境の創出に必要な財源を十分に確保すること。

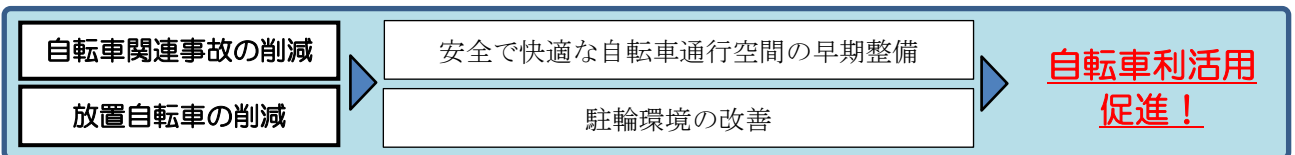
【現状と課題】

- 本市で発生する全交通事故に占める自転車関連事故の割合は、全国平均 19% に対し 28% と非常に高い割合であり、自転車関連事故の削減が喫緊の課題。（H29 統計）
- 駅周辺に自転車を放置する利用者は後を絶たず、自転車利用者・歩行者双方にとって安全で快適な環境といえない。
- 本市の玄関口である堺東駅には、シンボリックで利便性の高い駐輪場が必要である。



放置自転車の状況

◆本市における取組



- 自転車関連事故の対策として、平成 27 年（2015 年）に「堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン 50km」を策定。積極的に自転車通行空間整備を進めている。
- 放置自転車対策として、平成 28 年（2016 年）に南海高野線堺東駅等主要駅周辺の適正な駐輪場のあり方を検討。平成 31 年（2019 年）に堺東駅において機械式駐輪場を整備予定。
- 自転車利用環境のさらなる向上にむけて、平成 30 年（2018 年）10 月に「自転車利用環境向上会議 in 堺」を開催し、「自転車のまち堺」を全国に発信。



昨年会議（松山市）の様子

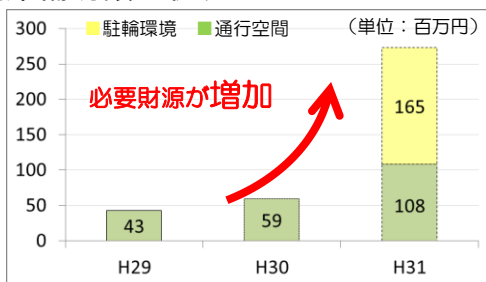


通行空間整備済区間（深井 73 号線）



機械式駐輪場の事例

◆国庫補助額の状況



	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (見込額)
事業費	78,020 千円	107,753 千円	495,819 千円
国庫補助額 (要望額)	42,911 千円 (110,165 千円)	59,264 千円 (106,865 千円)	272,700 千円

※交差点改良事業を含む

自転車活用施策の推進が  
一層重要！

自転車施策をめぐる国の動向  
H29.5 自転車活用推進法施行 自転車活用推進本部発足  
H30 自転車活用推進計画策定予定

国において今後策定される「自転車活用推進計画」を踏まえ、  
自転車通行空間整備の加速、駐輪場の整備を進める  
誰もが移動しやすく安全で快適な自転車利用環境の創出には財源の確保が必要

【本件に関する連絡先】

建設局 自転車環境整備課長 田中 正道 (TEL:072-228-0294)  
建設局 土木監理課長 豊川 清雄 (TEL:072-228-7416)